



ひろしま農振

NEWS

第9号

H9 7/1

【財団法人 広島市農業振興センター

〒739-17 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL (082) 845-4770
FAX (082) 842-2149

ひろしま活力農業

新規就農者募集

緑あふれる自然のなかで、自分の力を試してみたい
そんなあなたの若い活力をもとめています
広島市内で新たに農業をはじめませんか
野菜専業農家として自立をめざす人を応援します

あなたの活力で
育ててください
ひろしま野菜

この募集は、本センターが実施する“ひろしま活力農業”経営者育成事業により、本年度から新しい農業の担い手を育成するためのものです。



【募集期間】 平成9年7月1日(火)から8月29日(金)まで

【募集対象】 18歳以上39歳以下(平成10年4月1日現在)で、新しく農業(野菜栽培)を広島市内(農業振興地域)で始めたい人

【詳しくは】 募集案内をご覧ください。募集案内は次の機関で配布しています

(財)広島市農業振興センター、花みどり公園、広島市役所及び区役所、広島県廿日市地域農業改良普及センター広島支所、広島県新規就農ガイドセンター、JA広島市中筋支店、JA佐東町本部、JAアグラス本店、JA安芸農指導センター

郵送でご希望の方は、返信用封筒(A4判が入る寸法で、あて先・郵便番号を明記し、190円切手をはったもの)を同封して、次の問い合わせ先へ請求してください

問い合わせ先

財団法人広島市農業振興センター振興部 指導課

〒739-17 広島県広島市安佐北区深川八丁目30-12
TEL (082)845-4347 FAX (082)842-2149

「草花の里づくり」に取り組む 農村活性化住環境整備 安佐北区白木町下三田地区



農村活性化住環境整備事業に取り組んでいる安佐北区白木町下三田地区では、下三田地区まちづくり推進協議会（東 富正会長）と福永地区営農組合（山出英雄組合長）が「草花の里づくり」をしようと地区住民に呼びかけ、「みどりの日」にあたる4月29日、草花の苗を植え付けました。

JR芸備線白木山駅周辺の、ほ場整備でできた新しい法（のり）面などに、西洋たんぽぽに似た「アークトテカ」と暑さや乾燥に強い「パーペナ」などの苗約7,000本を105名の参加者が1本ずつ植えました。

呼びかけた東会長は、「各集落からたくさんの参加をいただいで実現でき、感謝している。この取り組みが、地域の活性化と市民の皆さんとの交流の橋渡しになり、花いっぱいのもちづくりのきっかけになればと思う。」、また、山出組合長は、「平成10年度には広島市初の市民農園も完成予定なので、多くの方々に喜んで来ていただくために「草花の里」となるよう努力していきたい。」と今後の抱負を語っていました。

活力ある地域づくり ほ場整備 安佐南区沼田町影浦地区



工事前の影浦工区



平成8年度に工事着手した影浦工区
今年度は、中畑工区も着手します。



話し合いが事業推進の
原点となっています。



宅内排水設備の改造工事

水洗化が順調

農業集落排水処理施設整備 安佐北区安佐町小河内地区

平成8年6月から使用開始した小河内地区農業集落排水処理施設では、宅内排水設備改造が順調に進み、平成9年5月末現在で51戸が使用しておられます。

平成9年2月から使用されている方は、「お盆に孫が帰ってくるんじゃが、今まではトイレに入るのをすごく恐れとった。でも、今年は、孫がトイレに入ったら「きれいじゃあー」とびっくりするじゃろう。孫の喜ぶ顔が目に浮かぶ。これ（農業集落排水）に入ってよかったとつくづく思う。」と話していました。

活動目標を明確化

第4回広島市農業振興協議会総会

広島市農業振興協議会（黄幡 昇会長）は、5月27日、JA広島市中筋支店で、第4回の総会を開催しました。この中で「農協営農指導員による特産化に向けての事例発表」と「広島市女性農業士から活動報告」がありました。また、今年度から、各委員会及び各農事研究会ごとにスローガン（活動目標）を掲げ、それぞれの立場で目標に向かって農業振興に取り組むことが決議されました。中泉副会長が、スローガンを読み上げると、会場は一斉に拍手が起こり、出席者の熱意が感じられる総会でした。



年1回は畑の土壌診断を!

本センター園芸課（土壌分析担当）

野菜や花き等の安定した栽培を行うためには、バランスよく肥料を施すことがポイントの一つです。

このためには、栽培ほ場の土壌分析を行い、この診断結果に基づいて施しましょう。

「年1回はほ場の土壌診断」を行きましょう。

※7・8月と1・2月は集中して時間がかかりますので、できるだけ、早目の御利用をお願いします。

■平成9年度 広島市農業振興協議会 活動目標（スローガン）

委員会・研究会名	活動目標（スローガン）	
協議会全体	ひろしまそだち特産化の推進、組織の活性化	
野菜委員会	消費者が望む高品質野菜を目指して	
果樹委員会	よりおいしいものを作る	
花き委員会	ひろしまそだちの花で輪を、地域を生かしてキラリと光る花づくり	
花木委員会	花木から始まるゆとりある生活	
作物委員会	おいしい米づくり	
地域活性委員会	産直活動の発展	
女性活性委員会	輝く女性を目指す	
畜産委員会	2割削減、3割増収	
青年活性委員会	農業後継者間の連携強化	
地域農業集団連絡協議会	地域農業集団の情報交換・交流の促進	
安芸町農事研究会	直売の周年体制の確立	ミニハウスの導入、 盆栽PR用パネル作成
祇園町農事研究会	伝統産地の継承	パセリ減農薬栽培の推進
安古市農事研究会	高品質野菜の継続推進	広島菜ブランド維持、 枝豆の生産維持等
佐東町農事研究会	広島菜の産地継続	枝豆の予冷流通、コマツナ学校 給食等各種流通の取組
沼田町農事研究会	山菜の特産化	小松菜に続く特産野菜の産地化
白木町農事研究会	特産品の育成、花きの品質向上	白ネギ、サトイモの特産化 トルコキキョウ、ダリアの品質向上
高陽町農事研究会	個性化農業の推進	農家里親交流等の実施
可部町農事研究会	会員相互の信頼を深め やる気復活	各品目毎の現地研修会、 先進地視察、産直店の充実
安佐町農事研究会	販売高の倍増	花木栽培の再生、 ピーマンの産地強化、産直店の充実
瀬野川農事研究会	茶豆の特産化	茶豆展示ほ、試食会の開催
阿戸町農事研究会	茶豆の特産化	茶豆展示ほ、加工技術の開発
矢野町農事研究会	ヘチマの特産化	ヘチマ展示ほ、商談会の開催
五日市農事研究会	特徴ある地域品目の振興	シントウの一本立て、ジュンギク 母本選抜、バイオフキ普及等
白木町和牛改良組合	110万市民の白木牛	
JA広島市肥育牛研究会	めざせ上物率100%	
広島市酪農振興協議会	スーパーカウでより安定経営を!	
広島市畜産新技術推進協議会	ET牛共進会をめざして	
広島市養鶏振興協議会	たまごづくりは、人づくり、町づくり	

第14回全国都市緑化ひろしまフェア

グリーンフェスタひろしま'97に本センター（園芸課）が出展

開催期間：平成9年9月20日(土)～11月24日(月)

開催場所：広島大学本部跡地

出展コーナー：テーマ館内の「広島市の技コーナー」

出展内容：本センターで開発したバイテクフキ、



※予冷庫で冷蔵中の
シャクナゲ。

「初夏に咲くシャクナゲを秋に観賞」開花調節技術を開発し、期間中には満開のシャクナゲを展示する予定です。



トピックス

受精卵移植による和牛誕生50頭台へ

本センターでは受精卵移植技術を活用し、乳牛を借腹とした和牛の生産を推進しています。平成8年度にはその生産頭数が40頭を超え、平成9年度は50頭の生産を予定しています。今後、受胎率の向上により生産頭数が増加し、酪農家の経営安定の一助になると期待されています。

また、肉質のよい和牛の産地づくりを積極的に推進し、子牛生産から肥育までの一貫した生産体制をより充実させるため、今年度は白木町に哺育・育成牛舎の建設が予定されています。



乳牛から生まれた和牛

山菜の王様“タラノメ”で産地化

タラノメは、東北地方をはじめ全国で盛んに栽培されている山菜の一つですが、今年から安佐町で産地化に取り組んでいます。

タラノメは、夏期の栽培管理がほとんど必要なく、ふかし栽培も冬場に行うため、農閑期の労力を活用することができる利点があります。

また、中山間地の立地条件を有効に利用できる山菜でもあります。

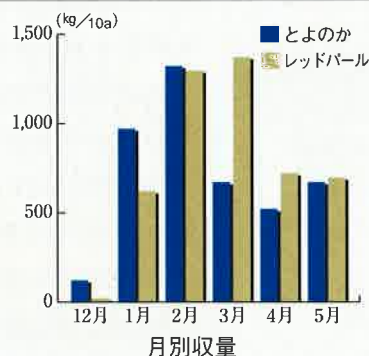
本センターでは、「新駒みどり」、「駒みどり」、「静岡みどり」の3品種を展示栽培し、本市に適した品種を検討していきます。



ハウスに伏せ込み出芽したタラノメ

いちごは「レッドパール」時代へ

おいしいいちご品種として「とよのか」が多く栽培されていますが、この品種はうどんこ病に弱いことが欠点です。そのため、うどんこ病に強い新しい品種として「レッドパール」の栽培がふえています。市内でも、昨年から安佐北区可部地区(7戸21アール)などを中心に「レッドパール」が導入されました。本センターで試作した結果、「レッドパール」を「とよのか」と比べると、収穫開始はやや遅いものの、総収量は「とよのか」の11%増しの10アール当たり約4.9tでした。また、果実の着色も良好でした。



■収量比較

品 種	10アール当たり 総収量 (kg)	比率 (%)
とよのか	4380	100
レッドパール	4879	111

チンゲンサイの周年栽培、4品種有望

チンゲンサイは、生育が早く周年栽培が可能で、ビニールハウスでは年6~7回の作付けができます。本センターの試験結果から、収量性も高く、栽培管理や出荷調整作業も容易であり、経営的にも有望であると思われる「は種期別の品種」は表のとおりです。

■は種期別有望品種及び生育日数

は種期	有望品種	生育日数	アール当たり 収量 (kg)
春まき (3~5月)	青帝、長江	40~45日	335
夏まき (6~8月)	青美、長江	35日	389
秋まき (9~10月)	青帝	40~45日	454
冬まき (11~2月)	青武、青帝	70~75日	427

参考：チンゲンサイの中央卸売市場入荷状況
(中央市場・東部市場)

区分	H4年	H5年	H6年	H7年	H8年
入荷量 (t)	283	314	386	411	427
単価 (kg/円)	297	369	335	303	330

(市場年報より)



青帝 青美 青武 長江